

共催 くらしとバイオプラザ21・ゲノム編集の未来を考える会

サイエンスアゴラ2021 オンラインワークショップ

「ゲノム編集トマトから考える食の未来」

2021年11月3日（水・祝） 13:00-14:30

15:00まで2次会あり（希望者のみ）

参加費無料・要事前予約・定員30名

人類は様々な育種方法により食料の生産性や品質を向上させてきました。今年にはゲノム編集によるGABA高蓄積トマトのオンライン販売が始まりました。ゲノム編集技術は、食卓のすぐそば！です。今春からモニターによる栽培が始まったゲノム編集トマトを例に、これからの食、消費者が納得して選ぶ食のあり方を考えましょう。

第1部 話題提供： ファシリテーター：佐々義子（くらしとバイオプラザ21）



「ゲノム編集食品はどう受け止められているのか」
大阪府立大学 山口夕さん



「ゲノム編集技術の伝え方を心理モデルから考える」
大阪学院大学 田中豊さん



「ゲノム編集トマトが創るネットワーク」
サナテックシード（株）
住吉美奈子さん



第2部 グループワーク： コメンテーター：小島正美（食生活ジャーナリストの会）

Zoomのブレイクアウトルーム機能を使って5名程度のグループに分かれ「食の未来」、「持続可能な食」そして「食の選択」について意見交換を行います。各グループの意見は、全員で共有します。

第3部 2次会：

希望者には、さらに意見交換を続けて頂きます。人数が多ければブレイクアウトルームを使います。

参加希望者は以下のURLまたは、QRコードからお申込みください。11月1日までに入室情報を送ります。

<https://forms.gle/Snt5y4kR1zSFohVB6>



ゲノム編集GABA高蓄積トマト

問合せ：特定非営利活動法人 くらしとバイオプラザ21

tel 03-5651-5810, fax 03-3669-7810, mail bio@life-bio.or.jp

HP <http://www.life-bio.or.jp/index.html>

本ワークショップは、戦略的イノベーション創造プログラム（次世代農林水産業創造技術）および厚労科研「新しいバイオテクノロジーによって作られた食品のリスクコミュニケーション」の支援を受けて行います。